

令和2年度(令和元年度実施事業分)事務事業評価評価票

No. 09-022

PDCA	事務事業名	雁宿駐車場管理運営事業	部課等名	総務部 防災交通課 交通防犯担当	担当	羽山尚吾	
					内線等	286	
P 総合計画との関係性等	政策体系	章：第4章 安全で快適に住み続けられるまち					
		節：第2節 都市基盤の整備					
		基本施策：3. 交通体系					
		単位施策：(3) 駐車場・駐輪場の整備					
	根拠法令等	半田市雁宿駐車場条例・半田市雁宿駐車場施行規則					
	対象・目的	半田市の中心市街地であり、商業・公的施設が集積し、知多半田駅という交通の結節点に位置する市営駐車場として、都市交通環境の改善と秩序ある自動車利用の促進及びマイカー通勤の抑制を図る。併せて隣接する雁宿ホール駐車場との一体利用を促進する。					
	目的を達成するための手段・活動内容	半田市雁宿駐車場を平成4年4月1日にパーク・アンド・ライド方式を導入して供用開始した。収容台数は261台で、管理業務は、社会福祉法人ダブルエッチジャーに委託して運営している。					
D 前年度の活動結果と見られた成果	活動結果	活動実績		29年度	30年度	元年度	単位
		①雁宿駐車場の利用台数		73,719	66,791	66,706	台
		②					
		③					
		事業費		17,288	17,679	22,880	千円
		人件費		2,348	2,001	2,922	千円
		総事業費		19,636	19,680	25,802	千円
		活動単位当たりのコスト		29年度	30年度	元年度	単位
		①雁宿駐車場利用台数1台あたりのコスト		266	265	385	
		②					
	③						
	成 果	成果指標		29年度	30年度	元年度	単位
		①雁宿駐車場の使用料収入	実績値	29,482	27,377	28,762	千円
			目標値	23,864	24,000	24,000	
②定期契約者数（年度末時点）		実績値	202	204	179	人	
		目標値	200	200	200		
		実績値					
	目標値						
C 課題の整理	観点別評価	必要性	有効性		効率性		
		①市の関与の妥当性 妥当	④上位施策への貢献 中程度	⑦コスト削減余地 ある			
		②市民ニーズ 低い	⑤成果向上の余地 ある	※手段の変更			
		③休廃止の影響 大きい	⑥類似事業の有無 ない	⑧受益者負担適正化余地 ー			
	事業の評価・課題	B					
		使用料及び雁宿ホール利用者減免負担金を合わせた収入は28,762千円で対前年比5%の増となり目標値を4,762千円上回った。雁宿ホール利用者が要因だが、令和2年度は同ホールの改修工事が予定されており減収見込みとなっている。一方、定期契約者は満員の状況が続いていたが、令和2年1月末にこれまで定期契約を結んでいた事業所の自社駐車場建設に伴う契約解除（38台）から最終的に目標値を下回っており、周辺事業所等への営業を継続する。					
		また、それ以外にも築28年目を迎え、施設維持管理のため改修・機器更新を実施する必要がある。					
A 課題解決のための目標	今後の事業の方向性	改善推進					
		安定的な運営を行うため、近隣事業者や通勤者を対象とした定期契約の確保を行う。 また、施設維持管理について、随時の部分修繕以外にエレベーター制御盤等、老朽化した設備の更新を計画的に行う。					
	令和2年度の目標	成果指標		目標値	単位		
		①雁宿駐車場の使用料収入		24,000	千円		
		②定期契約者数（年度末時点）		200	人		